

未来の緑化工セミナー

「緑化工学のフロンティアに向けて」

日時：2025年1月24日（金） 17：00～18：30

場所：Zoom（下記 Peatix サイトよりお申し込み下さい。申込み締め切り：1月23日）

<https://jsrt-seminar-20250124.peatix.com> <仮>



緑化工学会では、学会員の取り組みや活動を学会内外に広く知っていただく試みとして、緑化工セミナーを開催しています。今回は4回目の「未来の緑化工セミナー」として、「緑化工学のフロンティアに向けて」と題し、若手の研究者を中心に現状や今後の研究の展開などについて、ウェビナー形式で話題提供と議論を行います。

<今回の未来の緑化工セミナーについて>

今回は、小川泰浩博士、阿部建太博士の博士論文とその後の研究テーマである、荒廃地の地表安定化とその緑化、緑地利用時の健康効果に関連したご講演をそれぞれしていただき、いわば緑化工学の“フロンティア”を歩んでいるお二人と参加者のみなさんとで自由に討議します。

発表（1）は、爆発的噴火による荒廃地とその緑化に関する研究です。発表（2）は、緑地と健康という観点から、多様な緑地利用がもたらす影響とその可能性についての研究です。意見交換では、今後の展開、緑化工学のフロンティアとは、などについても、話を進めていければと考えております。

<講演内容>

発表（1） 小川泰浩（森林総合研究所）

「爆発的噴火で形成した荒廃地の地表安定化過程と点群緑化工」

発表（2） 阿部建太（東京農業大学）

「健康づくりの視点から考える緑地利用の多様性」



写真提供（左から）

小川泰浩氏 緑化による雲仙普賢岳の植生回復 / 阿部健太氏 敬遠されがちな雨天時の緑地